

ソフトバンクグループ株式会社

第70回無担保社債

利率(仮条件)

年 **4.30～4.90%** (税引前)

利率は2026年9月4日に決定予定です。
最終的に決定される利率は仮条件の範囲外の値となる可能性があります。

期 間

約 **7 年**

申込期間

2026年 9月7日(月) ～ 2026年 9月16日(水)

募集要項

発行価格	各社債の金額100円につき金100円
申込単位	額面100万円単位
払込期日	2026年9月17日(木)
利払日	年2回(毎年3月17日・9月17日) 初回利払日は2027年3月17日 ※最後の利息は、利息計算期間が半年未満となるため 半年分の利息より少ない金額になります。
償還期限	2033年9月16日(金)
債券格付	A(JCRより取得予定) 上記の記載項目は予定であり、今後変更される可能性があります。

発行者概要

ソフトバンクグループ株式会社は戦略的投資持株会社です。ソフトバンクグループ株式会社が直接または子会社を通じて大型投資を行っているほか、投資ファンドを通じた投資を行っており、保有株式価値の増大を通じて時価純資産を中長期的に最大化することを目指しています。
なお、通信やIT事業を行う事業会社であるソフトバンク株式会社とは異なります。

主なリスク

- ☑ **価格変動リスク** ▶ 本債券の価格は、市場金利の変動等により上下しますので、償還前に売却する場合には、投資元本を割り込むことがあります。
- ☑ **信用リスク** ▶ 発行者の経営・財務状況の変化および格付等の外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。

金融商品仲介業務を行う登録金融機関



株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

委託金融商品取引業者



SMB日日興証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人資産運用業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本STO協会

ソフトバンクグループ株式会社第70回無担保社債を ご購入いただくお客さまへ

本債券を申込期間中にご購入いただいた方全員に
ソフトバンクグループ株式会社より
「お父さん応援隊長
サイドポケットトートバッグ」が
もれなくプレゼントされます。



■「お父さん応援隊長 サイドポケットトートバッグ」については、ご購入金額にかかわらず、ご購入者さま1名につき1つとなります。

■内容:トートバッグ ■カラー:黒(生地)/白(転写/シルクプリント)/黄色(ファスナー部)

■素材:ポリエステル ■サイズ:約W400×H350×D14mm(ポケットサイズ:約W185×H145mm)

■画像はイメージです。 ■サイズ、カラーおよび仕様は変更になる可能性があります。

■プレゼントの発送は2027年2月下旬頃(予定)となります。

ご投資にあたって

- ご検討にあたっては、最新の「目論見書」「契約締結前交付書面」を必ずご覧ください。これらは三井住友銀行本支店等にご用意しています。
- 債券を、三井住友銀行の金融商品仲介にもとづき、募集・売出し等により、またはSMBC日興証券との相対取引により、当該債券の建て通貨で購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 三井住友銀行が金融商品仲介で取り扱う商品は元本保証ならびに利回り・配当の保証のいずれもありません。
- 金利の変動等による債券価格の上昇・下落、株式相場の変動、発行者の財務状況の変化等により、投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクやその他のリスクはお客さまのご負担となります。
- 三井住友銀行が金融商品仲介で取り扱う商品のご購入にあたっては、SMBC日興証券に「証券総合口座」を開設いただく必要がありますので、三井住友銀行がお取り次ぎいたします。
- 三井住友銀行が金融商品仲介で取り扱う商品は預金ではありません。
- 三井住友銀行が金融商品仲介で取り扱う商品は預金保険の対象ではありません。預金保険については、窓口までお問い合わせください。
- 金融商品仲介で取り扱う商品はSMBC日興証券にて保護預りしますので、投資者保護基金の対象となります。
- 債券の利子については、利子所得として申告分離課税の対象となります。
- 債券の譲渡益および償還益は、上場株式等に係る譲渡所得等として申告分離課税の対象となります。
- 一定の条件を満たしている方は、マル優をご利用いただけます。
- 税金についての記載は、作成時点における法令その他の情報に基づくものであり、税金について今後の法令等の改定により取扱が変更される可能性があります。詳細は専門の税理士等にご確認ください。
- 販売額に限度がございますので、売り切れの際はご容赦ください。

ご購入後の本債券のお問い合わせ・お取引等に関しましては、原則としてSMBC日興証券にて対応いたします。

- 必要に応じて、SMBC日興証券から、郵送やお電話・Eメール等でご連絡させていただくことがあります。
- ご購入いただいた本債券の価格情報および格付の状況等のお問い合わせや途中売却については、SMBC日興証券にお問い合わせください。

■本債券に関する問い合わせおよび売却時の連絡先

SMBC日興証券 SMBCサポートデスク 0120-250-725 (受付時間 平日8:30~17:30)

お客さま各位

2026 年 8 月 24 日
S M B C 日興証券株式会社

ソフトバンクグループ株式会社第 70 回無担保社債
に関する信用格付

掲題の債券格付及び社債発行者の信用格付に関し以下の通りお知らせいたします。

債券格付

格付機関	格付
JCR	A（予定）

発行体格付

格付機関	格付
JCR	A
S&P	BB+

長期コーポレート・ファミリー・レーティング

格付機関	格付
Moody's	Ba2 ^(注)

(注)記載の格付は非依頼格付（発行者の依頼によらず、格付機関が付与した格付）です。

本情報は予告または連絡なしに変更される可能性があります。

発行体格付および長期コーポレート・ファミリー・レーティングに関する情報は 2026 年 8 月 24 日時点において当社が信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。発行体格付およびコーポレート・ファミリー・レーティングの定義等については、次頁以降をご参照ください。

以上

日本格付研究所(JCR)

コーポレート等の信用格付の種類と記号の定義

債務不履行の定義

「債務不履行」とは、金融債務の元金支払が当初約定通りに履行されない状態を指します。これには、債務者について、破産、会社更生、民事再生、特別清算といった法的手続きが申立てられる等、元金支払が当初約定通りに履行されることが不可能と判断される状態も含まれます。

長期発行体格付

AAA	債務履行の確実性が最も高い。
AA	債務履行の確実性は非常に高い。
A	債務履行の確実性は高い。
BBB	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来債務履行の確実性が低下する可能性がある。
BB	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。
B	債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。
CCC	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。
CC	債務不履行に陥る危険性が高い。
C	債務不履行に陥る危険性が極めて高い。
LD	一部の債務について約定どおりの債務履行を行っていないが、その他の債務については約定どおりの債務履行を行っているとしてJCRが判断している。
D	実質的にすべての金融債務が債務不履行に陥っているとJCRが判断している。

AA からB までの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス(+)若しくはマイナス(-)の符号による区分を付す。

- (a) 長期発行体格付は、債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を比較できるように等級をもって示すものです。
- (b) 保険金支払能力に対する格付についても上記記号で表します。

出所：日本格付研究所(JCR)「信用格付の種類と記号の定義(最終更新日：2014年1月6日)」

本資料は、お客さまの投資判断のご参考となる情報提供を目的としております。証券投資に関する最終的なご判断はお客さまご自身でなさるようお願い申し上げます。なお、本資料に記載された情報に関しましては、2026年8月24日に当社が信頼できると判断した情報源から抜粋・作成したものです。その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。詳しくは各格付機関のホームページをご覧ください。

日本格付研究所(JCR)

長期個別債務格付

AAA	債務履行の確実性が最も高い。
AA	債務履行の確実性は非常に高い。
A	債務履行の確実性は高い。
BBB	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来債務履行の確実性が低下する可能性がある。
BB	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。
B	債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。
CCC	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。
CC	債務不履行に陥る危険性が高い。
C	債務不履行に陥る危険性が極めて高い。
D	債務不履行に陥っているとJCR が判断している。

AA からB までの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス(+)若しくはマイナス(-)の符号による区分を付す。

- (a) 長期個別債務格付は、期限1年を超える債務が履行される確実性を比較できるように等級をもって示すものです。
- (b) 個別債務格付では、債務が約定どおり履行される確実性を評価した上で、回収可能性の点で他の債務と差異があると判断した場合は、投資家への注意喚起の意味から、発行体格付との間にノッチ差をつけることがあります。
- (c) 長期個別債務格付の対象には、債券、発行プログラム(ミディアム・ターム・ノート・プログラム等)等、発行者が負う個別の債務を含みます。
- (d) 優先株等、ハイブリッド証券に対する格付についても上記記号で表します。

出所：日本格付研究所(JCR)「信用格付の種類と記号の定義(最終更新日：2014年1月6日)」

本資料は、お客さまの投資判断のご参考となる情報提供を目的としております。証券投資に関する最終的なご判断はお客さまご自身でなさるようお願い申し上げます。なお、本資料に記載された情報に関しましては、2026年8月24日に当社が信頼できると判断した情報源から抜粋・作成したものです。その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。詳しくは各格付機関のホームページをご覧ください。

S&Pグローバル・レーティング(S&P)

発行体格付け

S&Pグローバル・レーティング(以下S&Pとする)の発行体格付けは、債務者の総合的な信用力についてのフォワードルッキングな意見を示すものである。発行体格付けは、金融債務を期日通りに履行する債務者の能力と意思とに焦点を当てたものである。発行体格付けは、債務の種類や条件、倒産や清算の際の順位付け、法律上の優先的な地位、合法性や強制力は勘案しておらず、個々の金融債務に対するものではない。

ソブリン格付けは発行体格付けである。

発行体格付けには長期と短期がある。長期発行体格付けは、長期と短期のすべての金融債務を期日通りに履行する債務者の長期的な能力と意思に着目するものである一方、短期発行体格付けは、すべての金融債務を期日通りに履行する債務者の短期的な能力と意思に着目するものである。

長期発行体格付け*

カテゴリー	定義
AAA	債務者がその金融債務を履行する能力は極めて高い。S&Pの最上位の発行体格付け。
AA	債務者がその金融債務を履行する能力は非常に高く、最上位の格付け(「AAA」)との差は小さい。
A	債務者がその金融債務を履行する能力は高いが、上位2つの格付けに比べ、事業環境や経済状況の悪化の影響をやや受けやすい。
BBB	債務者がその金融債務を履行する能力は適切であるが、事業環境や経済状況の悪化によって債務履行能力が低下する可能性がより高い。
BB、B、CCC、CC	「BB」、「B」、「CCC」、「CC」に格付けされた債務者は投機的要素が大きいとみなされる。この中で「BB」は投機的要素が最も小さく、「CC」は投機的要素が最も大きいことを示す。これらの債務者は、ある程度の質と債権者保護の要素を備えている場合もあるが、その効果は、不確実性の高さや事業環境悪化に対する脆弱さに打ち消されてしまう可能性がある。
BB	債務者は短期的にはより低い格付けの債務者ほど脆弱ではないが、高い不確実性や、事業環境、金融情勢、または経済状況の悪化に対する脆弱性を有しており、状況によってはその金融債務を期日通りに履行する能力が不十分となる可能性がある。
B	債務者は現時点ではその金融債務を履行する能力を有しているが、「BB」に格付けされた債務者よりも脆弱である。事業環境、金融情勢、または経済状況が悪化した場合には、債務を履行する能力や意思が損なわれやすい。
CCC	債務者は現時点で脆弱であり、その金融債務の履行は、良好な事業環境、金融情勢、および経済状況に依存している。
CC	債務者は現時点で非常に脆弱である。不履行はまだ発生していないものの、不履行となるまでの期間にかかわらず、S&Pが不履行は事実上確実と予想する場合に「CC」の格付けが用いられる。
SD、D	債務者の金融債務の少なくとも一部(長期か短期か、また格付けの有無を問わない。規制上の自己資本に分類される、あるいは契約条件に認められた形で不払いが生じているハイブリッド証券を除く)について不履行があるとS&Pが判断していることを示す。「D」は、債務者が全面的に債務不履行に陥り、すべて、または実質的にすべての債務の支払いを期日通り行わないとS&Pが判断する場合に付与される。「SD(Selective Default: 選択的債務不履行)」は、債務者がある特定の債務または特定の種類の債務を選択して不履行としたものの、その他の債務については期日通りに支払いを継続するとS&Pが判断する場合に付与される。債務者が経営難に伴う債務再編を実施した場合も、債務者の格付けは「D」あるいは「SD」に引き下げられる。

* 「AA」から「CCC」までの格付けには、プラス記号またはマイナス記号が付されることがあり、それぞれ、各格付けカテゴリーの中での相対的な強さを表す。

自国通貨建て格付けと外貨建て格付け

S&Pは、外貨建てと自国通貨建ての発行体格付けを区別している。債務者の債務履行能力が、自国通貨建て債務と外貨建て債務とで異なる場合には、その外貨建て格付けは自国通貨建て格付けと異なる水準となりうる。

出所: S&Pグローバル・レーティング「S&Pの格付け定義等(2025年12月17日)」

本資料は、お客さまの投資判断のご参考となる情報提供を目的としております。証券投資に関する最終的なご判断はお客さまご自身でなさるようお願い申し上げます。なお、本資料に記載された情報に関しましては、2026年8月24日に当社が信頼できると判断した情報源から抜粋・作成したのですが、その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。詳しくは各格付機関のホームページをご覧ください。

ムーディーズ・レーティングス(Moody's)

ムーディーズの格付

信用格付はムーディーズの長期ならびに短期のグローバル・スケールで付与され、事業会社、金融機関、証券化商品の発行体、プロジェクト・ファイナンスの発行体及び公共セクターの事業体が発行した債務の、相対的な信用リスクに関する今後を展望した意見である。ムーディーズは、信用リスクを、事業体が契約上・財務上の義務を期日に履行できないリスク及びデフォルトまたはインペアメント(経済的損害)発生時に見込まれる金銭損失と定義している。ムーディーズが格付の対象とする契約上の債務は、確定可能な金額を確定可能な期日までに支払うことを、法的強制力の有無を問わず要請するものである。その金額は、標準的な変動要因(例:変動金利)に基づいて変動する場合がある。ムーディーズの格付は、発行体が債務履行に十分なキャッシュを確保する能力と支払を履行する意思を対象としている。ムーディーズの格付は、債務元本の金額に含まれる非標準的な変動要因(例:株価連動)は対象としていない。ただし、初めての格付付与にあたり発行されるプレス・リリースに、それを対象とする旨明示される場合を除く。長期格付は、発行体、もしくは当初の満期が11ヶ月以上の債務に付与され、契約上の債務のデフォルトもしくはインペアメント発生の可能性と、デフォルトもしくはインペアメント発生時に被ることが予想される金銭損失の双方を反映する。短期格付は、当初の満期が13ヶ月を超えない債務に付与され、契約上の債務のデフォルトもしくはインペアメント発生の可能性と、デフォルトもしくはインペアメント発生時に被ることが予想される金銭損失の双方を反映する。ムーディーズは長期/短期格付を発行体レベルと証券レベルに付与する。通常、格付は公表されるが、プライベートレーティングや非公表格付が付与されることもある。

ムーディーズは、グローバル・スケールで証券化商品に付与する格付については、全ての証券化商品の格付に(sf)を付加することによって、ファンダメンタルの格付(事業会社、金融機関及び公共セクターの事業体に対する格付)と区別する。証券化商品の格付に(sf)を付加したことにより、同水準の記号を用いる証券化商品とファンダメンタルの格付が、同様に推移するという想定は払拭される。証券化商品の(sf)のインディケーターは、インディケーターの有無を別にすれば同水準となる格付を付与されている証券化商品ならびにファンダメンタルの証券のリスク特性は異なることを示唆している。しかしながらムーディーズは、現行の格付手法を通じて、証券化商品の格付もファンダメンタルの格付も、長期の尺度で見れば概して同等のパフォーマンスを達成することを目指している。

長期格付

Aaa	信用力が最も高いと判断され、信用リスクが最低水準にある債務に対する格付。
Aa	信用力が高いと判断され、信用リスクが極めて低い債務に対する格付。
A	中級の上位と判断され、信用リスクが低い債務に対する格付。
Baa	中級と判断され、信用リスクが中程度であるがゆえ、一定の投機的な要素を含みうる債務に対する格付。
Ba	投機的と判断され、相当の信用リスクがある債務に対する格付。
B	投機的とみなされ、信用リスクが高いと判断される債務に対する格付。
Gaa	投機的で安全性が低いとみなされ、信用リスクが極めて高い債務に対する格付。
Ca	非常に投機的であり、デフォルトに陥っているか、あるいはそれに近い状態にあるが、一定の元利の回収が見込める債務に対する格付。
C	最も格付が低く、通常、デフォルトに陥っており、元利の回収の見込みも極めて薄い債務に対する格付。

注: ムーディーズはAaからCaaまでの格付に、1、2、3という数字付加記号を加えている。1は、債務が文字格付のカテゴリーで上位に位置することを示し、2は中位、3は下位にあることを示す。また、"(hyb)"のインディケーターは、銀行、保険会社、ファイナンス・カンパニー、証券会社が発行したハイブリッド証券の全ての格付に付与される*。

*ハイブリッド証券には、予定された配当、利息、または元本の支払停止を容認する条項が付帯されている。したがって、そのような支払停止が発生した場合、経済的損害(インペアメント)が発生する可能性がある。また、ハイブリッド証券は契約上、元本を減額することも可能であり、これによってインペアメントが発生する可能性もある。ハイブリッド証券に対する長期債務格付と付加記号は、このような証券に付随する相対的な信用リスクを示す指標である。

出所: ムーディーズ・ジャパン 「ムーディーズ・ジャパン株式会社 格付記号と定義(2025年6月改訂)」

本資料は、お客さまの投資判断のご参考となる情報提供を目的としております。証券投資に関する最終的なご判断はお客さまご自身でなさようお願い申し上げます。なお、本資料に記載された情報に関しましては、2026年8月24日に当社が信頼できると判断した情報源から抜粋・作成したものです。その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。詳しくは各格付機関のホームページをご覧ください。

ムーディーズ・レーティングス (Moody's)

コーポレート・ファミリー・レーティング

ムーディーズのコーポレート・ファミリー・レーティング (CFR) は、あるコーポレート・ファミリーが約定通りに支払を履行しない可能性、及びデフォルト時に被ると予想される金銭損失を反映する、長期格付である。CFR は、コーポレート・ファミリーが単一クラスの債務をもち、かつ連結された単体の法的組織であると仮定して付与される。CFR は、一般的には投機的等級の発行体に用いられる。極めて限定的な状況にのみ、CFR が投資適格の債務者に付与されることもある。CFR は通常、付与される発行体の経営支配下にある全ての関連会社に適用される。金融機関もしくはその他の複合事業体の場合、グループが完全な経営支配力を行使しないまでも、グループ内でのサポートあるいは個々のグループメンバー間の連携が強固なため、グループまたは連合体に対しての格付が正当となりうる場合には、そのようなグループまたは連合体に対して格付を付与する。CFR は、特定の債務または債務クラスに対するものではない。従って債務の支払順位を反映するものでもない。

出所: ムーディーズ・ジャパン 「ムーディーズ・ジャパン株式会社 格付記号と定義 (2025年6月改訂)」

本資料は、お客さまの投資判断のご参考となる情報提供を目的としております。証券投資に関する最終的なご判断はお客さまご自身でなさるようお願い申し上げます。なお、本資料に記載された情報に関しましては、2026年8月24日に当社が信頼できると判断した情報源から抜粋・作成したものです。その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。詳しくは各格付機関のホームページをご覧ください。